

なぜ日本人は何回なる物を送り届ける技術とは真と聞かされ鉄腕アトムやアラモもロケット打ち上げ剣さも中身も違う。もし日本がを失敗するか。日本過去有人飛行を目指していた「ロジエクトX」の時代を経て日本は世界第二位の経済力をもつと日本人の実用的な英才が結果できたのではないか。た。ところが現代日本人は夢と力を誇り、かつそれが一方「有人」ということにな志をもつ心を忘れた。

が製造業の力によっていること。もう一度人類貢献の志を新たな世界が認めている。世界に誇れば日本人の命を危険にさらすに、「日本人の手による有人の日本製自動車も新幹線も、人わけにはいかなないと危くする人宇宙飛行成功」の大目標を打ちう商品をでありなもいるだろう。だが考えてほしい、真剣に努力から、過去日本

日本人の手で有人宇宙飛行を成功させよう

立て、真剣に努力してはどう

人は見事に完成させた。一方日人。アメリカの科学技術に日本人の生命を乗せて危険にさらすことが、日本人にとって本当に喜ぶべきことなのかどうか。

命の尊さを悟るのではないか。

その理由は日本の宇宙開発が、有人宇宙飛行を成功させるが経過した。私が小学生の頃、(日本テクノロジープベンチャーという志と目標を持っていない先生から「皆さんが大人になっからではないか。人を送り届けたら宇宙旅行をしているかも」

ガガーリンが「地球は青かった」と言ってから四十年あまり挑戦に際しトップの決断が重要であることは言うまでもない。

パートナース投資事業組合代表